
1. 平成24年度事業計画(総括)

I. 事業の内容

法人の目的を遂行するために次の事業を行います。

1. 学術大会及び学術教育事業
 - 1) 第61回(社)全日本鍼灸学会学術大会(三重大会)の開催
研究発表と学識経験者による講演
平成24年6月8日(金)～10日(日)の3日間：四日市市文化会館
 - 2) 第3回国際シンポジウムの開催
平成24年6月7日(木)・8日(金)の2日間：四日市市文化会館
 - 3) 支部学術集会及び支部研修会の開催
 - 4) 学術部委員会の開催：学術部事業の協議、実施
 - 5) 抄録審査委員会(小委員会)の開催：学術大会の一般発表応募抄録の審査
 - 6) 研究者養成のためのセミナーの開催
 - 7) 鍼灸学術団体協議会
2. 学会雑誌の発行事業(学会誌、学術図書及び資料の刊行)
 - 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行：年4回発行(62巻2号～63巻1号)
 - 2) 学会報の発行(学会雑誌に併載)：125号～128号
 - 3) 編集部委員会の開催：平成24年5月、8月、11月、平成25年2月の4回
 - 4) 投稿規程の見直しと整備
 - 5) データベースの整備
3. 調査研究事業(調査研究の実施)
 - 1) 研究部委員会の開催：研究部事業の協議・実施
 - 2) 研究専門委員会：平成23・24年度公募研究の助成
 - 3) データベース委員会：データベースを利用した研究支援
 - 4) DBの充実、維持管理、文献評価研修会の継続
 - 5) 第3回国際シンポジウム(三重)の開催(各部と連携した実行委員会として)
 - 6) 東洋療法研修試験財団の受託研究の実施
 - 7) 鍼灸の有効性・安全性・経済性に関する情報の収集と発信
 - 8) ISO/TC249対策及びJLOM関連委員会への協力
 - 9) 大韓鍼灸学会(KAMS)と学術大会での研究者相互招聘による交流
4. 学術交流事業(内外関連学協会との連絡及び協力)
 - 1) 国際部会の開催
 - 2) 国際学術交流
世界鍼灸学会連合会(WFAS)、その他の国際機関への対応
 - ① 国際学会派遣：マレーシア大会、インドネシア大会参加
 - ② ICMART、ICOMの視察
 - ③ 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介：「世界の鍼灸コミュニケーション」
 - 3) 日本鍼灸関連情報の海外への紹介
 - ① 米国の鍼灸師取得試験の日本語試験実施に向けNCCAOMに協力
 - ② 海外からの研修生受付システム構築

- ③英語版ウェブサイトコンテンツ拡充
- ④自立型懸垂幕作成
- 4)その他
 - ①JLOM関連委員会への協力
 - ②2012年JSAM国際シンポジウム開催協力
- 5. 研究の奨励及び研究業績の表彰
高木賞選考委員会の開催及び高木賞の授与
- 6. 組織の拡充及び支部活動事業（組織拡充及び支部活動の助成）
 - 1)入会審査の実施
 - 2)入会促進活動：関連学会への入会金免除による入会促進
 - 3)学生会員から正会員への切り替え促進を図る
 - 4)支部活動の支援
 - 5)正会員のアンケート調査
 - 6)関連学校優秀卒業生への会長表彰
- 7. 広報活動の充実
 - 1)Webの維持管理：サーバーの維持管理
 - 2)ホームページCMSの更新
 - 3)大会ホームページの管理
 - 4)メールマガジン・FAXマガジンの発行と発送
 - 5)アンケート調査の実施
 - 6)一般向け・会員向け・海外向け案内パンフレットの作成
 - 7)海外より鍼灸の見学受け入れの窓口
 - 8)広報部会の開催
- 8. 認定委員会
 - 1)認定講習の審査
 - 2)認定委員会・認定審査委員会・認定実務委員会・認定試験委員会の開催
 - 3)支部学術集会・A研修講座への助成
- 9. その他目的を達成するために必要な事業
 - 1)公益社団法人認可の申請
 - 2)公益法人新会計基準による経理処理
 - 3)鍼灸医学の啓蒙と普及：一般向けの公開講座、講演会の開催
 - 4)会員の資質向上のための事業
 - 5)鍼灸師養成施設新卒業生への会長表彰状の作成・発送
 - 6)会員証（JCBビジネスカード）の取得促進

II. 会議の内容

会務を円滑に運営するために次の会議を行う

- 1. 通常総会 平成24年 6月9日(土)：四日市市文化会館
- 2. 評議員会
 - 1)平成24年 6月8日(金) : 四日市市文化会館
 - 2)平成25年 3月24日(日) : 日本鍼灸会館

3. 理 事 会

平成24年6月、7月、11月、平成25年2月、3月の5回開催

4. 常務理事会

1) 平成24年11月18日(日) : 日本鍼灸会館

2) 平成25年 2月 3日(日) : 日本鍼灸会館

5. 支部運営委員会

平成24年7月、11月、平成25年2月、3月の4回開催

6. 定款等改正検討委員会

1) 平成24年 5月12日(土) : 日本鍼灸会館

2) 内閣府に公益社団法人認可申請提出後の対応により開催

7. その他の会議

1) 認定委員会

2) スポーツ鍼灸委員会

3) 施術事故等緊急対策連絡会

4) 予算検討委員会

5) 各部委員会及び各部小委員会

6) 鍼灸学術団体協議会

III. 諸規則の制定及び改定に関すること

1. 諸規則の改定

2. 文部科学省への報告

3. 内閣府への対応

2. 平成24年度 各部事業計画

1) 平成24年度 事務局事業計画

I. 会務運営のための諸会議に関する事、及び会議録の作成並びに保管

1. 通常総会 平成24年 6月 9日(土)：三重県四日市市文化会館
2. 評議員会
 - 1)平成24年 6月 8日(金) : 三重県四日市市文化会館
 - 2)平成25年 3月24日(日) : 日本鍼灸会館
3. 理事会
 - 1)平成24年 6月 8日(金) : 三重県四日市市文化会館
 - 2)平成24年 7月29日(日) : 日本鍼灸会館
 - 3)平成24年11月18日(日) : 日本鍼灸会館
 - 4)平成25年 2月 3日(日) : 日本鍼灸会館
 - 5)平成25年 3月24日(日) : 日本鍼灸会館
4. 臨時理事会 平成24年 6月10日(日)：三重県四日市市文化会館
5. 常務理事会
 - 1)平成24年11月18日(日) : 日本鍼灸会館
 - 2)平成25年 2月 3日(日) : 日本鍼灸会館
6. その他の会議
 - 1)支部運営委員会
 - ①平成24年 7月29日(日) : 日本鍼灸会館
 - ②平成24年11月18日(日) : 日本鍼灸会館
 - ③平成25年 2月 3日(日) : 日本鍼灸会館
 - ④平成25年 3月24日(日) : 日本鍼灸会館
 - 2)定款等改正検討委員会
 - ①平成24年 5月12日(土) : 日本鍼灸会館
 - ②平成24年 6月17日(土) : 日本鍼灸会館
 - ③平成24年 7月15日(日) : 日本鍼灸会館
 - ④平成24年 9月16日(日) : 日本鍼灸会館
 - 3)鍼灸学術団体協議会
 - 4)認定委員会
 - 5)スポーツ鍼灸委員会
 - 6)施術事故等緊急対策連絡会
 - 7)予算案検討委員会
 - 8)各部委員会及び各部小委員会

II. 庶務、事務所及び職員に関する事

1. 事務管理部門の強化及び職務分担による運営の合理化
2. 事務所備品、事務消耗品等の在庫管理
3. 会員データベースの管理

4. 情報ネットワーク網の整備
5. 会員入退会の対応と処理
6. 通信文書等の処理

III. 官公庁及び鍼灸関連団体との渉外に関すること

1. 官公庁、諸団体からの文書、書簡の整理、保管及び対応
2. 文科省への出向、書類提出
3. 鍼灸関連団体との連絡調整

IV. 理事会・評議員会の自己点検・自己評価の導入に関すること

1. 自己点検・自己評価システムの導入に関する検討

V. その他、他部の所管に属さない事項

2) 平成24年度 学術部事業計画

I. 学術部の基本方針

学術部は、①分かりやすい、②聞きやすい、③参加しやすい

を基本方針として学術大会、学会作りに努力する。そのために以下の事業を計画した。

II. 平成24年度事業計画

1. 学術部委員会の開催（年2回予定）

学術部の基本方針、事業計画案及び具体的なアクションプランを策定するために委員会を開催する。

2. 学術大会について

- 1) 第61回(社)全日本鍼灸学術大会(中部支部)の準備支援(平成24年、2012年)
- 2) 第62回(社)全日本鍼灸学術大会の(九州支部)の準備支援(平成25年、2013年)
- 3) 第63回(社)全日本鍼灸学術大会の開催地決定について(平成26年、2014年)
- 4) 第63回(社)全日本鍼灸学術大会の開催地決定について(平成27年、2015年)

※学術大会運営規定の見直しと支部運営委員会における開催地決定の調整

3. 支部学術集会について

支部の学術集会が充実・発展するよう相談・協力等の支援を行う。

4. 鍼灸学術団体協議会について

平成22年度に引き続き開催予定（23年度は中止）

5. その他学術に関すること

1) 高木賞選考委員会の開催

規程に従って委員会を開催する。

2) 抄録審査について

抄録審査委員会の下部組織である抄録審査小委員会が実施する。

3) その他

(1) 学生ポスター発表の開催に向け準備

(2) サテライトステップアップセミナーの開催

(3) 研究者養成のためのセミナー（ステップアップ鍼灸臨床研究）の開催

3) 平成24年度 研究部事業計画

I. 鍼灸の研究に関すること

1. 研究専門委員会（H24/25年度公募研究助成）
2. 第61回学術大会（三重）でのワークショップ開催（研究部単独および学部共同）
3. 第3回国際シンポジウム（三重）の開催（各部と連携した実行委員会として）
4. データベース委員会によるデータベースを利用した研究支援

II. 鍼灸の教育・啓発に関する事業

1. データベース（DB）委員会としてDBの充実、維持管理、文献評価研修会の継続
2. 鍼灸の有効性・安全性・経済性に関する情報の収集と発信

III. その他

1. 2012三重大会実行委員会・企画委員会への参加・協力
2. 2013九州大会実行委員会への協力
3. 国際部 and/or 学部との共同作業
 - 1) ISO/TC249対策およびJLOM関連委員会への協力
 - 2) 大韓鍼灸学会（KAMS）と学術大会での研究者相互招聘による交流
 - 3) 学部との共同ワークショップ

4) 平成24年度 編集部事業計画

I. 学会誌の編集、広告、発行、配布に関すること

1. 学会誌の発行
 - 1) 62巻2号（平成24年5月末発行予定）
 - 2) 62巻3号（平成24年8月発行予定）
 - 3) 62巻4号（平成24年11月発行予定）
 - 4) 63巻1号（平成25年2月発行予定）
2. Japanese Acupuncture and Moxibustion(JAM) アップロード（平成25年2月予定）
3. 編集委員会
 - 第1回 平成24年 5月開催予定
 - 第2回 平成24年 8月開催予定
 - 第3回 平成24年 11月開催予定
 - 第4回 平成25年 2月開催予定

II. 学会誌の原稿・資料の収集に関すること

1. 投稿原稿、依頼原稿の収集
2. 第61回学術大会企画の原稿収集
3. その他、学会員の学術向上に寄与する解説、総説等の原稿依頼とその収集

III. 学会報の編集、発行、配布に関すること

1. 学会誌（62巻2号・3号・4号、63巻1号）に学会報を掲載予定

IV. 学会誌への投稿規程やデータベースに関すること

1. 投稿規程の見直しや整備
2. データベースの整備

V. その他

1. Medline登録に向けての検討
2. 電子投稿査読システムの調査検討
3. 学会用語集の作成準備

5) 平成24年度 組織部事業計画

I. 入会審査の実施

II. はき養成施設卒業生に対する会長表彰の実施

III. 学生会員に対して正会員への切り替え促進を図る。

IV. はき養成施設の卒業生に対して入会促進を図る。

V. 関連学会（2学会）への入会金免除により、入会促進を図る。

VI. 支部活動の調整を図る。

VII. 正会員のアンケート調査

6) 平成24年度 国際部事業計画

I. 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介

1. 学会誌「世界の鍼灸コミュニケーション」シリーズ
2. 学会誌「国際学会報告」シリーズ

II. 日本鍼灸関連情報の海外への紹介

1. 米国NCCAOMの鍼灸師免許取得試験の日本語による試験実施に向け、NCCAOMに協力
2. 海外からの研修生受付システム構築
教育機関での短・中期研修受け入れ
3. 英語版ウェブサイトコンテンツ拡充
4. 自立型懸垂幕作成（予算は広報部）

III. 世界鍼灸学会連合会（WFAS）、その他の国際機関への対応

1. World Federation of Acupuncture and Moxibustion Societies (WFAS)
 - 1) マレーシア大会視察 4月30日～5月2日 Sarawak, Malaysia

- 2) インドネシア大会 11月16日～18日 Bandung, Indonesia
 - (1) 視察
 - (2) 執行理事会等、役員会出席
 - (3) 日本鍼灸について展示
- 3) 日本語版および英語版 Websiteへ WFAS 対応の経過を掲載
2. American Academy of Medical Acupuncture (AAMA) 視察
4月26日～29日 Atlanta, USA
3. International Congress on Complementary Medicine Research (ICCMR) 視察
5月15日～18日 Portland, USA
4. International Congress of Medical Acupuncture and Related Techniques (ICMART) 視察
5月25日～27日 Athens, Greece
5. International Congress of Oriental Medicine (ICOM) 視察
9月14日～16日 Seoul, Korea
6. 海外の学会等へ学会誌寄贈

IV. 国際部会議開催

国際部会議 (2回程度予定)

V. その他

1. JLOM 関連委員会への協力
2. 2012年 JSAM 国際シンポジウム開催協力

7) 平成24年度 広報部事業計画

I. Webの維持管理

1. 本会サーバーの維持管理 (サーバー管理者に依頼)
2. ホームページCMSの更新管理 (業者依頼・広報部員の協力)
3. 学術集会・研修会情報収集及び案内
4. サーバー移転、データベースの集約化などの検討

II. 大会ホームページの管理

大会ホームページの運用に関してデザインや内容について監修をし、CMS操作に対してのフォローをする。

III. 学会情報の発信

メールマガジン・FAXマガジン・認定講習会一覧 (学会雑誌同封) を発行し、研修会情報を中心に学会情報を会員に発行する。

IV. アンケート調査実施

学会の活動についてアンケート調査を行う。

V. 一般向け・会員向け・海外向け案内パンフレットの作成

WEBやパンフレット、ポスターなどの媒体を使い広く鍼灸学術情報を広報する。

VI. 海外より鍼灸の見学受け入れの窓口

海外より鍼灸の見学受け入れについて、国際部と共同で受け入れ先の紹介や外国人に対してフォローをする。

VII. 会議の開催

年間を通じ数度の会議及びWeb会議を行う。

8) 平成24年度 JLOM関連委員会事業計画

I. 基本方針

日本東洋医学サミット会議（JLOM）を主体とする国際標準化事業（ISO, WHO）に鍼灸領域のプラットフォームとして協力する。特に国際標準化事業のうち、医療機器に関する標準化については日本理学療法機器工業会、用語や情報については鍼灸関係の他団体とともに、ISO/TC215/WG3/JPの諸先生方との協力の上推進する。併せて標準化活動を担う次代の人材育成に努める。

II. ISO/TC249における鍼灸領域の国際標準策定会議への参加

1. 第3回Plenary meeting（5月21-24日、韓国・大田）
2. WG3, WG4 第2回会議

III. ISO/TC215における鍼灸領域の国際標準策定会議への参加

1. TC215 Meeting（5月6-9日、カナダ、バンクーバー）
2. TC215 Meeting（10月頃、オーストリア・ウィーン）

IV. 国内における鍼灸関連標準策定に関わる事業

1. 研究部との協力の下で、国内における鍼灸領域の標準策定に必要な情報の収集を行う。
2. 日本理学療法機器工業会との協力関係のもと、国内、国際における標準策定に必要な情報収集を行う。

V. 国外における鍼灸領域の標準策定の現状調査

国際部との協力の下に、必要な調査を実施する。

VI. 伝統医学の国際標準策定の現況に関する啓蒙活動の実施

1. WHO, ISOにおける国際標準策定に関わる経緯、現況、展望に関するoutreachの実施
2. 医療情報学分野の標準化に関するworkshopの実施

VII. WHO, WPROにおける国際標準（ICD, ICTM関連）策定の現況調査と協力

VIII. JLOM関連委員会開催

VIII. 標準策定に関する省庁への連絡

鍼灸領域の標準策定に関する報告を必要に応じて関係省庁（厚生労働省・経済産業省）に対して行う。